

# 目白学園中学校における国際理解教育の取り組み

—国際化に対応したコミュニケーション能力の育成—

International Education at Mejiro Gakuen Junior High School

—Promoting Communicative Skills in a Global Community—

森本 治子

(Haruko MORIMOTO)

## 1. はじめに

情報や資本の流れが国境を越えて活発になった現代社会では、経済や社会の様々な面で急速にグローバル化が進んでいる。複雑化した国際社会では環境破壊、民族紛争、経済格差など様々な地球規模の課題を抱えており、国際的な理解と協調は不可欠である。課題解決に向けた相互理解のために、英語は国際共通語として最も中心的な役割を果たしており、積極的に外国人と交流してそれぞれの文化を学び、コミュニケーションを取ることができる能力を養うことがますます重要になっている。平成14年度から実施されている学習指導要領においては、国際化の進展に対応し、外国語による日常的な会話や簡単な情報の交換などの基礎的・実践的コミュニケーション能力がどの生徒にも必要になってきているとの観点から、中・高等学校の外国語科を必修とし、中学校段階については、「聞くこと」「話すこと」の音声によるコミュニケーション能力の育成に重点をおいている。その際、外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成も重視している。<sup>1)</sup>

目白学園中学校では、平成6年より14年間にわたり、本校独自のACEプログラム（Active Communication in English）において、海外のテキストやオリジナルテキストを使用し、実践的英語コミュニケーション能力の育成を目指してきた。今年度は、カナダ修学旅行にむけて、英語の授業においてカナダでの生活やホストファミリーとの生活を想定した英会話を中心とした指導を実施した。また公民の授業でカナダの地理や文化を学び、家庭科の授業においてもホームステイ先で生徒が作ることができる日本料理の調理実習を行い、様々な教科の連携のもとに準備を整えることができた。また総合的な学習の一環として、カナダについての事前学習やホームステイの心得をポイントごとに継続的に学習した。さらに海外姉妹校からの交換留学生やシンガポールの南洋女子校との交流行事を通して、国際理解教育の実践に取り組んできた。

そして平成8年からカナダで実施してきた語学研修を今年度からカナダ修学旅行として位置づけ、「国際理解と自己の役割」をテーマに中学3年生を対象に実施している。事前学習や現地での研修を通して、世界の中の日本人としての自覚を深め、良識ある国際人としての生き方を学んでいる。筆者は、国際教育部主任、また中学3年担当教諭として、カナダ修学旅行の企画と実施に携わった。本稿は、目白学園中学校における国際理解教育の実践的研究報告である。

中学3年生にアンケート調査を実施し、検討を加えた。

## Ⅱ. 日本における国際理解教育について

1970年代からの日本経済の急激な成長は、産業・貿易・科学技術・情報化などを進展・拡大させ、諸外国の人々との交流を促した。また国際情勢の複雑化をもとにして世界共通の問題が深刻化し、地球環境としての人類共通の課題としての認識を強め、地球規模の相互依存と世界的連帯意識が重要性を増した。<sup>2)</sup>

国内における国際理解教育は、1953年、ユネスコが発足させた「世界共同社会に生活するための教育における共同実験活動」に日本が参加し、共同学校が実験校として実施したのに始まった。その後ユネスコは国際情勢の変化や地球環境など多くの現実的課題に対応して、1974年に第18回ユネスコ総会において「国際理解、国際協力及び国際平和のための教育ならびに人権及び基本的自由についての教育に関する勧告」を採択した。

日本ではユネスコの勧告を受けて、1982年に日本ユネスコ国内委員会が「国際理解教育の手引き」を刊行し、次の6項目にわたる国際理解教育の目標と構造を明らかにした。「①平和な人間の育成、②人権意識の啓発、③自国認識と国民的自覚の涵養、④他国・他民族・他文化の理解の増進、⑤国際的相互依存関係と世界の共通課題の認識に基づく世界連帯意識の形成、⑥国際協調・国際協力への実践的態度の養成」である。

中央教育審議会は1974年5月、「教育・学術・文化における国際交流について」と題する答申を発表し、「国際社会において積極的に活躍し、貢献できる日本人の育成」のために教育の国際化の必要性を強調し、次のように述べている。「我が国が国際社会の一員として、積極的にその義務と責任を果たすためには、国民一人ひとりが日本及び諸外国の文化・伝統について深い理解を持ち、国際社会において信頼と尊敬を受ける能力と態度を身につけた日本人として育成されることが基本的な課題である。今後は、このような認識に立って、これらの能力を備え知・徳・体の調和のとれた日本人の育成を目指し、学校教育、社会教育及び家庭教育の全般を通じて改善充実を図る必要がある。特にその場合、国際理解教育、外国語教育等の一層の充実を図り、国際協調の精神を培い、国際理解を深めるよう配慮すべきである。」国際性豊かな日本人を育成するためには、実践を中心にした国際理解教育を展開していくこと、さらにこの教育を学校だけでなく社会教育の分野まで拡大していくことの必要性を強調している。

1984年8月、臨時教育審議会が発足し、1985年から1987年の間に4次にわたる答申を出した。臨教審の最終答申に次いで1987年12月に教育課程審議会の答申が出され、教育課程の基準の改善のねらいとして「文化と伝統の尊重と国際理解の推進」が示された。教育課程審議会の答申の趣旨を踏まえ、1989年3月、文部省によって新学習指導要領が告示された。その際、改訂の基本方針として「我が国の文化と伝統を尊重する態度の育成を重視するとともに、世界の文化や歴史についての理解を深め、国際社会に生きる日本人としての資質を養うこと」という立場が明確に示された。

中学校における国際理解教育の具体的な実施内容としては、海外修学旅行や海外姉妹校との交流活動、コミュニケーションの手段としての外国語教育の重視、そして国際理解教育や日本の文化・伝統を学習することを中心としたものが挙げられる。

海外への修学旅行が盛んになり、文部科学省初等中等教育国際教育課の調査によると、平成18年度は中学校において111校（公立20校1,631人、私立91校6,849人）の実施があった。公立中学校は韓国（15校1,382人）が校数比75%と多く、私立中学校はオセアニア（33校2,667人）が校数比35.5%と最も多い。ついで北アメリカ（29校1,858人）が校数比25.8%と英語圏に多い。文部科学省は海外修学旅行の安全確保のために、外務省を通じて必要な情報を入手し、「海外修学旅行届け」を提出するなど十分な準備と配慮を行うように指導している。

### Ⅲ. 直接体験を重視した国際理解教育の展開

近年、開発、平和、人権、環境の概念の拡充に伴い、これらを統括した新しい国際理解教育が欧米諸国を中心に提唱されている。

サイモン・フィッシャーとデイヴィッド・ヒックスは、子どもたちが世界に目を向け、自分と世界の関係を考えるための授業案を著書にまとめ、1991年に「ワールド・スタディーズ」という教育活動を提言した。「ワールド・スタディーズ」とは、「多くの文化が存在し、人々が相互に依存しあう世界で、責任ある生き方をするのに不可欠な知識・姿勢・技能の三つを身につけるための学習であり、教育である」と定義し、さらにこの教育の推進には問題解決型の学習が不可欠であると述べている。実体験を通じた活動を通じて、人は他者との違いに気づき、世界の人々との共生を目指す姿勢が生まれるのだと考えられる。<sup>3)</sup>

目白学園中学校では、実体験を伴う海外との交流や海外修学旅行を実施することにより、学習した知識や技能を定着できると考えている。自国の文化と異文化に対する理解と尊重をもとに、意志の疎通を図るコミュニケーション能力を育成し、自国の利益にのみにとらわれず、グローバルな視点を育成することを目指している。

事前学習や課題学習、さらに事後学習など、総合的な学習を実施することで、より広く、より広い異文化への理解が期待できる。つまり中学校教育の3年間の一つの大きな柱として海外修学旅行を設定し、各教科の学習を連携して「国際人の育成」を目指している。また、中学校の集大成として3年間の全ての学習や趣味や特技、個人の関心の中からさらに学びたいことを深め、研究論文として完成させる生徒もいる。この活動を通して各自が設定したテーマをもとに自己表現する能力を養い、自己の生き方を探求する。

#### 1) 中学3年における学習活動の流れ

- ① 学年テーマについてのガイダンスを実施する。
- ② 修学旅行の事前学習を行う。
- ③ 旅行先での調査研究課題を見つけ、準備する。

## 2) 異文化理解活動の実践

- ① 生徒会を通じて海外への災害時の募金や支援を呼びかける。
- ② ネイティブ教員の指導でカナダ式朝食（ホットケーキと紅茶）を体験する。カナダ修学旅行の激励会（キックオフパーティー）を兼ねる。（資料1）
- ③ テーブルマナー講習会で洋食のマナーについて学ぶ。（資料2）
- ④ シンガポール南洋女子校との音楽を通しての交流行事を実施する。（資料3）
- ⑤ 修学旅行中は積極的にコミュニケーションを取り、カナダ人の生活や文化を学ぶ。  
カナダ人の生活の様子を知り、日本と比較する。  
カナダの地理、歴史、自然、文化、生活習慣を学ぶ。
- ⑥ カナダで見聞してきたことや体験したこと、調査したことをまとめ、発表する。
- ⑦ カナダでのホストファミリーとの交流を続ける。
- ⑧ 他国にも目を向け、国際ボランティア活動など、自分たちが国際的にできる活動などに関心を持つ。JICA（国際協力事業団）主催のエッセイコンテスト、子ども国連主催セミナーに参加する。
- ⑨ 目白学園高校の交換留学生（カナダ・オーストラリア）との交流会を実施する。

## 3) カナダ修学旅行の実施

### 1. 目的

- (1) ウェストバンクーバー 45学区の協力を得て、自然豊かな環境の中で、専門の英語教育者による実り多い学習を受け、さらにはホームステイにより英会話の機会を増やし英語で話すことの楽しさを体験する。
- (2) カナダの人々の生活や文化を身近に見聞し、現地の人々と直接交流することにより、多様なものの見方・考え方を学び、相互理解を深める。
- (3) 積極的な国際交流活動を通して国際理解を図り、世界中の日本人として自覚を深め、国際性を養う。
- (4) 旅行を通じて集団生活のしかた、自己の健康管理と安全などを体得する。

### 2. 期日

2008年6月30日（月）～7月9日（水） 10日間

### 3. 研修場所

#### (1) バンクーバー

2003年から5年連続で「世界で一番住みやすい街」に選ばれているバンクーバーは、カナダ西部太平洋岸に面し、ブリティッシュ・コロンビア州の経済、商業、文化の中心都市である。授業を受けるウェストバンクーバー・セカンダリー・スクールは本校の姉妹校であり、ウェスト

バンクーバー 45学区内の閑静な住宅街の一角に位置している。校舎・教室などの設備も安心して勉強に集中できる環境である。またホームステイ先は、ウェストバンクーバー 45学区の教育委員会に登録されているホストファミリーとしての経験が豊富な家庭である。

## (2) ビクトリア

バンクーバー島の南端に位置するビクトリアはブリティッシュ・コロンビア州の州都の海辺の町として知られる。町並みは1年を通して様々な花が咲き乱れ、「ガーデンシティ」と呼ばれている。

## 4. 参加者

目白学園中学校 3年 1組・2組 生徒56名、引率教員 3名

## 5. 費用

360,000円（海外旅行保険を含む）

## 6. 準備

- (1) 校務運営委員会、学年会において、海外修学旅行の意義、目的、日程について検討
- (2) 保護者・生徒対象説明会（計2回）の実施  
「参加申込書」「16歳未満渡航保護者同意書」の提出
- (3) ホームルームと英語「ACE」授業での継続的な事前学習の実施  
社会科、家庭科との連携
- (4) パスポートの取得
- (5) 旅行前健康調査の実施（アレルギー、既往症を記入）
- (6) 海外修学旅行における安全対策について検討  
緊急時における連絡方法、引率者・指導者の任務分担の決定  
海外旅行傷害保険への加入  
東京都生活文化スポーツ局私学部を通して、「海外修学旅行届け」を外務省に提出
- (7) 学年会議、引率者会議における指導方針の徹底
- (8) 全体指導及び学年集会の実施  
ホストファミリー、スタディーグループの決定  
リーダー長、班長の決定と役割分担、班長会議  
旅のしおり、カナダ資料、ネームタグ、カナダ税関申告書の配布  
集合場所、持ち物の確認

## 7. 学習指導

### (1) 事前指導

#### ①英語「ACE」の授業での指導

- ・英語圏で10日間生活することの目的と意義について説明し、実践的な英語力を向上させるための指導を継続的に行う。
- ・自己紹介、道順の尋ね方、レストランでの注文方法、買い物の仕方を学ぶ。(資料4)
- ・ホストファミリー希望調査を記入する。(資料5)
- ・「スピーキング テスト」(ホストファミリーとの対面を設定したロールプレイ)で会話力の定着を図る。(資料6)
- ・ホストファミリーへ自己紹介の手紙を書く。

#### ②他教科との連携

- ・社会科の授業において、カナダの地理と歴史について学習する。
- ・家庭科の授業において、ホストファミリー先で作る日本食の調理実習をする。

### (2) 実施時の指導

- ・全行程を通して、時間の厳守など、規律ある集団行動を徹底する。
- ・今までに培った英語力を使い、研修先での英語授業やホームステイにおいてコミュニケーションが取れるように生徒の積極性を促す。
- ・安全面、健康管理について細心の注意を払うように指導する。

### (3) 実施後の指導

- ・アンケートにより、生徒の満足度や感想を調査する。
- ・研修中に身につけた知識を、今後の英語学習をはじめとする日々の生活の中で生かせるように指導する。
- ・文化祭における学習発表の一貫として、スタディーグループによる新聞作成と個人による英文ポスターと旅行記を作成する。

## 8. 現地での研修内容

指導者は、各スタディーグループを受け持つ3名のほかに統括するリーダーを合わせて計4名のウェストバンクーバー45学区の教員である。スタディーグループは、A、B、Cの3班を習熟度別に構成した。午前中の課外授業は、今年初めての試みとして、CA(カルチャラルアシスタント)が担当し、ウェストバンクーバーの教員と連携を取りながら、生徒のプログラムや英会話への積極的な参加を促した。生徒は、ハンドブックに課題学習で調べたことを記入した。

[基本日程] 学校への送迎とバグランチはホストファミリーが担当する。

8:30 登校

9:00 課外授業

目白学園中学校における国際理解教育の取り組み

ウェストバンクーバー教員とCAの引率によりスクールバスを利用

12:00	昼食 (ウェストバンクーバー・セカンダリー・スクールにてバグランチ)
12:30	校内授業
15:30	下校

	午 前	午 後
バンクーバー	<p>1 課外授業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンレーパークやリン渓谷、グランビルアイランド、バンクーバーの中心街(ダウントウン)を訪れ、クエスト(課題学習)を行いながら散策する。</li> </ul> <p>2 自然観察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンレーパークとカナダ先住民の歴史について・リン渓谷での自然観察。(温帯雨林、ネイチャーウォーク)</li> </ul> <p>3 レポート作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水上バスを利用してグランビルアイランドへ、マーケットでの学習や買い物を通して日本との違いをレポートする。</li> </ul>	<p>1 校内学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会話と単語力の強化に力を入れる。</li> <li>・午前中の校外学習に関連した単語やスペル、発音の基礎を学ぶ。</li> <li>・日常英会話やカナダの地理・歴史・文化、生活習慣などについて学習する。</li> </ul> <p>2 修了式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修了書と記念品授与</li> <li>・スライドショー</li> </ul>
ビクトリア	<p>(1日観光)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バンクーバーからフェリーでバンクーバー島に渡る。</li> <li>・州議事堂やその周辺、ブッチャートガーデンを散策する。</li> <li>・英語学習の一貫として、フードコートで各自昼食を購入する。</li> </ul>	

9. 旅程表

No.	DATE	CITY	TIME	TRANSPORT	DETAILS	MEAL	
1	2008 30Jun (MON)	Narita	19:00	AC4	Leave for Vancouver by Air Canada	OB	
					***** Cross Int'l Date Line *****		
		Vancouver	12:00		Arrive at Vancouver	D	
			13:00	Charter Bus	Transfer to West Vancouver		
	14:30		Matching with Host families at school				
			Dinner at homestay	Homestay			
2	01Jul (TUE)				** Full day free with host families **	B	
					* CANADA DAY *	L	
					Homestay	D	
3	02Jul (WED)	W.Vancouver		School Bus	Breakfast at homestay	B	
			8:30				Homeroom
			9:00				Activity : Study and stroll
							<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Native study at Stanley Park</li> <li>・ Temperate rainforest at Lynn Valley</li> <li>・ Granville Island</li> </ul>

5	04Jul (FRI)		12:00 12:30 15:30		Bag lunch ESL Classes Host families pick up students at school Dinner at homestay Homestay	L  D
6	05Jul (SAT)	W.Vancouver Tsawwassen Victoria  Victoria Tsawwassen W.Vancouver		Charter Bus Ferry Charter Bus	Breakfast at homestay *** Full day Sightseeing in Victoria*** Transfer to Tsawwassen Leave for Victoria (approx 1.5hr) Upon arrival, transfer to Downtown Sightseeing in Victoria Lunch by own arrangement Transfer to West Vancouver Host families pick up students at school Dinner at homestay Homestay	B      D
7	06Jul (SUN)	W.Vancouver			** Full day with host families ** Homestay	B L D
8	07Jul (MON)	W.Vancouver	8:30 9:00 12:00 12:30 13:30 15:30 16:30	School Bus	Breakfast at homestay Homeroom ESL Classes Bag lunch Closing Ceremony Transfer to Downtown and Stroll in town Back to West Vancouver Host families pick up students at school Dinner at homestay Homestay	B   L   D
9	08Jul (TUE)	W.Vancouver  Vancouver	9:30 10:00 13:45	Charter Bus AC3	Breakfast at homestay Assemble at school Transfer to Vancouver Airport Leave Vancouver for Narita ***** Cross Int'l Date Line *****	B    OB
10	09Jul (WED)	Narita	15:55		Arrive at Narita Airport	OB

B = Breakfast, L = Lunch, D = Dinner, OB = On Board, Bag lunch = prepared by host family



#### IV. 実体験学習の成果

カナダ修学旅行に参加した中学3年生を対象に帰国後に異文化理解、英語学習、ホストファミリーとの生活についてのアンケート調査を実施した。(資料5) その結果、異文化理解、日本理解、英語授業への取り組みにおいて、大きな成果が見られた。具体的には異文化理解の向上(肯定的評価87%)、日本理解の向上(肯定的評価89%)、カナダでの英語授業への取り組み(肯定的評価71%)となっている。また生徒の71%が「外国で生活することにより視野が広まった」と解答した。

午前中の校外学習は、生徒の満足度が高くCA(カルチュラルアシスタント)が、見学先での説明や移動のバスの中で生徒と積極的にコミュニケーションを取りながら指導してくれた。生徒の反応を見ると、A班(上級クラス)の生徒たちには、積極的にCAに話しかけて楽しんでい様子が見られたが、B、C班では英語の説明がよく理解できない生徒もいた。しかし、カナダの自然や文化に触れ、ホストファミリーと生活した体験は、言葉以上の説得力を持って、生徒の心に刻まれたようである。(肯定的評価83%) 午後の授業は50分ごとに3サイクルで行われ、生徒はスタディーグループごとにローテーションでクラスを移動し、毎日3人のウェストバンクーバー教員全員の授業を受けた。それぞれの教員の創意工夫された個性的な授業で、生徒は楽しみながら英語の学習ができたという感想が多かった。(肯定的評価71%)

英語学習についての自由記述によると、「カナダでの生活で英語に自信が付き、帰国してからも一生懸命に勉強している」、「これからもっと英語を話すことに積極的になり、今度外国に行ったときに生かせるようにしたい」、「楽しい授業で英語がもっと好きになり、もっと勉強したくなった」と学習意欲が高くなった生徒が多く見られる。(肯定的評価63%)

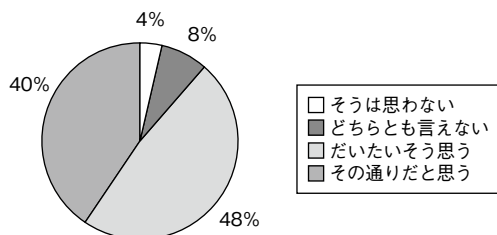
カナダのホストファミリーとの生活では、「はじめは言葉が通じなくて大変だったが、ジェスチャーなどをまじえて一生懸命にコミュニケーションを取った」、「とてもフレンドリーな家族でいろいろなところに連れて行ってくれた」、「英語を聞き取ることはできても思うように話すことができなかったが、ホストファミリーと仲良くなり、楽しく生活ができた」、「日本についていろいろと聞かれたので、事前学習で準備したことが役立った」、「カナダの料理は珍しくておいしかった。日本の料理を作ったときはほめてくれて嬉しかった」と積極的に家族の一員になるように努力した様子が見られる。(肯定的評価75%)

(1) カナダ修学旅行に関するアンケート調査

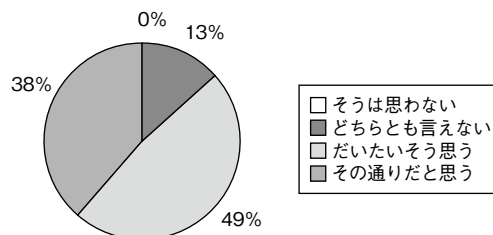
実施日：平成20年9月6日 対 象：中学3年生 52名

項 目	そうは思わない	どちらとも言えない	だいたいそう思う	その通りだと思う
(1)カナダ修学旅行に参加して満足している。	2	4	25	21
(2)日本とは違う国の人々や文化に対する理解が深まった。	0	7	25	20
(3)日本や日本文化についての理解・関心が深まった。	5	11	24	12
(4)外国で生活することにより視野が深まった。	5	10	20	17
(5)ホームステイ先での生活に満足している。	8	13	13	18
(6)ホームステイ先での食事に満足している。	9	6	21	16
(7)ホストファミリーが自分を家族の一員として扱ってくれた。	4	9	15	24
(8)ホームステイ先では家族の一員となれるよう自分自身が努力した。	2	15	20	15
(9)カナダでの午前中の校外学習は満足している。	0	9	22	21
(10)カナダでの英語授業に積極的に取り組んだ。	2	13	26	11
(11)カナダでの英語授業が理解できた。	3	12	23	14
(12)英語に対して以前より興味を持つようになった。	6	13	18	15
(13)英語を聞き取る力が伸びた。 (相手の話していることが理解できるようになった。)	4	17	21	10
(14)英語で自分の気持ちや考えを言えるようになった。 (言う努力をするようになった。)	6	19	14	13

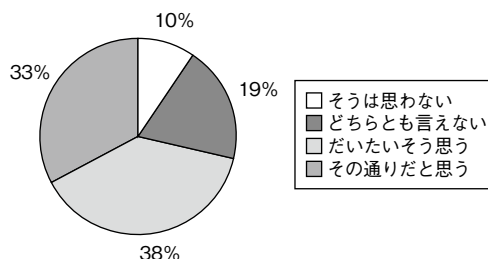
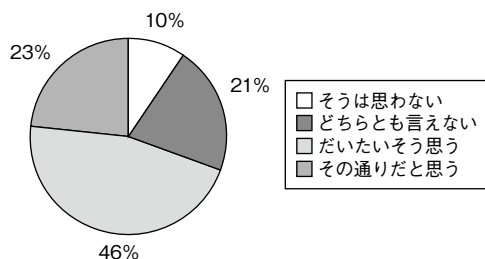
(1) カナダ修学旅行に参加して満足している。



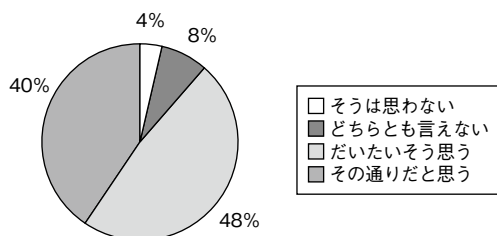
(2) 日本とは違う国の人々や文化に対する理解が深まった。



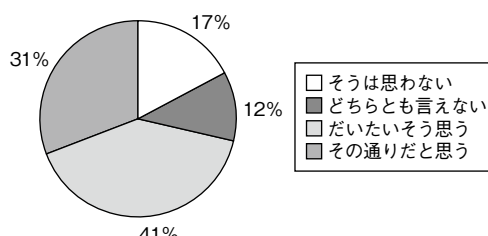
(3) 日本や日本文化についての理解・関心が深まった。(4) 外国で生活することにより視野が深まった。



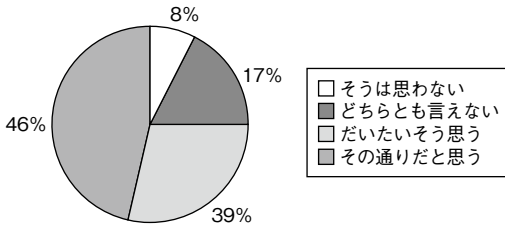
(5) ホームステイ先での生活に満足している。



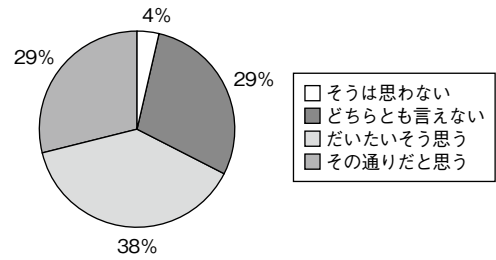
(6) ホームステイ先での食事に満足している。



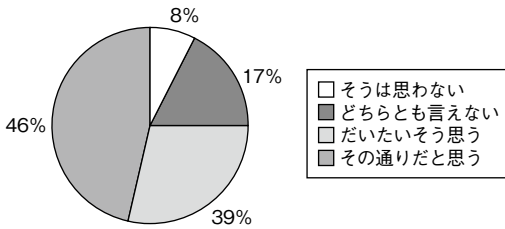
(7) ホストファミリーが自分を家族の一員として扱ってくれた。



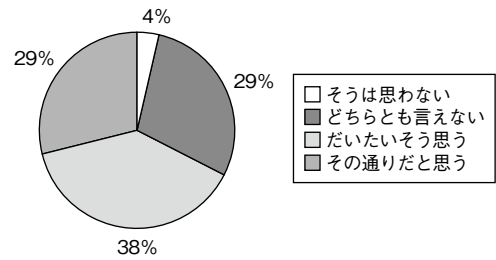
(8) ホームステイ先では家族の一員となれるよう自分自身が努力した。



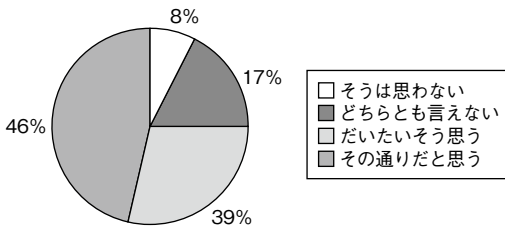
(9) カナダでの午前中の校外学習は満足している。



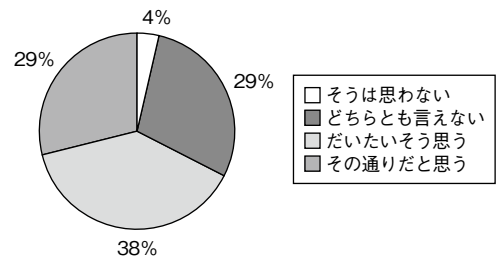
(10) カナダでの英語授業に積極的に取り組んだ。



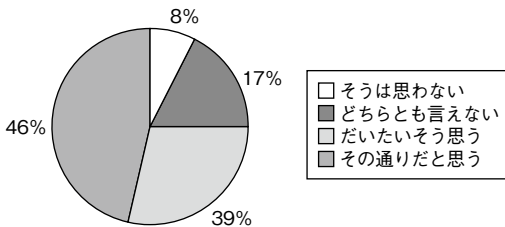
(11) カナダでの英語授業が理解できた。



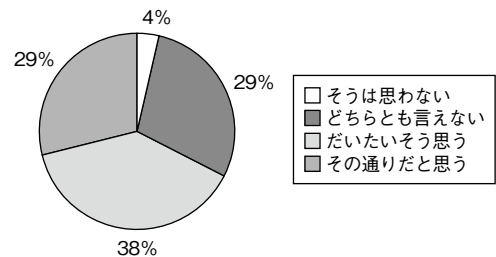
(12) 英語に対して以前より興味を持つようになった。



(13) 英語を聞き取る力が伸びた。(相手の話していることが理解できるようになった。)



(14) 英語で自分の気持ちや考えを言えるようになった。(言う努力をするようになった。)



異文化との関わりの中で他者を認める経験をし、自文化を再認識することができた生徒たちは、帰国後に大きな変化を体験した。高校に進学してからの留学を目指して準備を始めた者、国際ボランティアに取り組みたいと考えている者など多様である。また将来の進路や職業について真剣に考えるようになり、実体験型の学習からコミュニケーション能力と、感受性、行動力が育っていることを確信した。

カナダ修学旅行を通して生徒たちは、外国の人々と相互理解を深めるには、まず共通の言語でコミュニケーションを取ることが必要なことを学んだ。外国語の習得と良好な人間関係を築く過程には、共通点が見られる。外国語の習得と文化の類似性と違いを知るには、人間関係と同様、互いに努力をして、時間をかける必要がある。英語は、日本語として捉える以前に、直接情報や意見を受け入れる貴重な手段である。日本語と英語の言葉の壁を乗り越えるには、完璧な英語を話すことにとらわれずに積極的に交流することが重要である。生徒たちがホストファミリーとの生活の中で、積極的にコミュニケーションを取り、家族の一員となるように努力したことは、大きな成果である。

## (2) カナダ修学旅行 生徒感想文

### A Great Experience

We went to Canada for ten days. We studied about Canada in English. I ate many different kinds of foods. For example, French fries, corn flakes and in-flight meals. These were very delicious. I went to many places. I saw totem poles, and went to Granville Island, downtown, and Lynn Canyon. We went around by bus. In the afternoon, we studied English with Canadian teachers at West Vancouver Secondary School. Classes were very difficult but I like Canadian teachers.

My host family's house was very big. We went to the park every day. We enjoyed playing basketball and made many enjoyable memories. I want to go to Canada again.

I love Canada!

### Summer in Canada

I enjoyed my school trip to Canada very much. We went to Stanley Park, a big park in Vancouver. We walked along the beach and took pictures of totem poles and the sea in a group of 15 students. Then we went to Granville Island by Aqua-bus. In the market on the island, we took pictures of interesting fruits, vegetables or flowers we don't often see in Japan. The view was beautiful and the air was fresh. Our host family was very kind. They took us to Capilano Park on a holiday. We crossed a suspension bridge there and we had tacos for dinner that day. I had never eaten tacos before, so it was a very interesting experience. I have many good memories from my trip.

### My Trip to Canada

My trip to Canada was from June 30 to July 9. First, I was worried about going to Canada. I thought that I would not be able to communicate with my host family and Canadian people. But everyone was so kind, and I could communicate with them.

There are many shops and different kinds of food in Canada. When I went to Victoria, there were many shops. I bought a key ring and it was so cute. At Granville Island, there were many kinds of foods. The most delicious food was a hamburger and French fries. I want to eat them again. Canada is a very interesting country. I had a great time in Canada.

私は、はじめてカナダに行って学んだことがたくさんありました。カナダで学習した英語や、校外学習で勉強したカナダに関する事など、いろいろところで日本とは違うと感じました。カナダの人々はすごく親切で、まったく知らない人も笑顔で接してくれました。けれども言いたいことが英語にできない時があって、もっと勉強しておけばよかったと思いました。カナダについて理解が深まり、英語に対する考え方が変わったので、カナダに行って良かったと思いました。



City View of Vancouver (Granville Island on the left)

Victoria Harbor

カナダ修学旅行後の研究発表



研究発表 (1)



研究発表 (2)



研究発表 (3)



英語プレゼンテーション

## V. まとめ

国際理解教育には、人類の多様性を認め、相互理解の必要性を説くものと、人類が直面している人口問題、環境問題等の地球上の重要課題を相互協力によって解決しようとするものがある。異文化理解能力やコミュニケーション能力を養成する英語教育は前者の立場を、社会科教育や道徳教育は後者の立場といえる。しかし、これからは人類共通課題解決に向けての連帯と協力のために、地球市民意識を育成するための教育を今まで以上に展開していく必要がある。

国際社会における緊密な交流と相互依存は、今日では日常的なことになっており、日本人が世界の中で孤立して生活することは不可能である。このような世界状況の中で、教育の課題としては、日本の文化への深い理解や日本人としての主体性の確立を基礎に、世界諸国の多様な文化を正しく理解し、寛容の態度で接することができること、また諸外国の人々と心を開いてコミュニケーションが取れる能力を身につけることが重要である。

### 【注】

- 1) 文部科学省『「英語が使える日本人」の育成のための戦略構想』2002年
- 2) 中西晃編著『国際教育論—共生時代における教育』創友社 1993年、P335
- 3) 浅間正道編著『異文化理解の座標軸—概念的理解を超えて』日本図書センター、2001年、P177

資料1 中学3年「ACE」

カナダ式朝食の作り方(1)

HOW TO MAKE PANCAKES

March 23, 2008

You will need:    1 package of pancake mix  
                         1 egg  
                         3/4 cup of milk  
                         Teaspoon of butter  
                         Bowl  
                         Whisk  
                         Spatula  
                         Ladle  
                         Hot Plate

1. Crack 1 egg and 3/4 cup of milk into a bowl. Mix together.
2. Add 1 package of pancake mix into the bowl. Mix together.
3. Put the hot plate on low/medium heat.
4. Put a teaspoon of butter onto the hot plate so that your pancakes will not stick.
5. Take a ladle full of mix and put it onto the hot plate.
6. Cook for 3 minutes or until bubbles form.
7. Turn over and cook the other side.
8. Cook for 2 minutes or until brown.
9. Take the pancake off the hot plate and put it onto your plate.
10. Put butter and syrup on your pancake.
11. Eat and enjoy!



カナダ式朝食の作り方 (2)

1.



egg



milk



bowl

2.



pancake mix



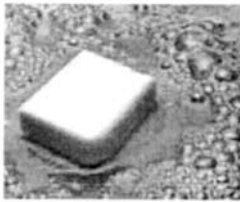
whisk

3.



hot plate

4.



butter



Put some butter.

5.

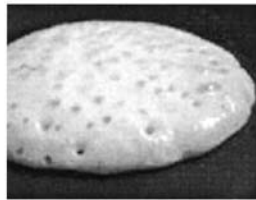


ladle



Pour the batter.

6.



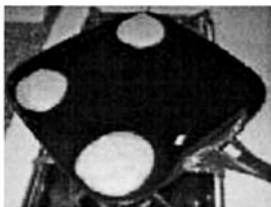
Cook for 3 minutes.

7.



Turn over the pancake.

8.



Cook until brown.

9. 10.



Serve on your plate.

11.



Let's enjoy!

資料2 中学3年生 洋食のテーブルマナーを学ぶ講習会

実施日：平成20年5月30日 東中野 「日本閣」にて

(1) テーブルセッティング



(2) テーブルマナー開始



(3) 本日のメニュー

*Today's Menu*

○ *Appetizer* アボカドのテリーヌと小エビのマリネ  
ヨーグルトソース

*Soup* ミネストロネスープ

*Fish* スズキのポアレハーブの香り  
ブルブランソース

*Meat* 若鶏のコンフィーポテトリヨネーズ  
とベビーリーフのサラダ添え

*Dessert* パンナコッタとフレッシュフルーツ  
パン  
コーヒーまたは紅茶

生徒感想

フルコースは、初めて食べましたがおいしかったです。でもメインになる前に満腹になったので、量が少し多かったです。ナイフとフォークの使い方は知っていましたが、実際のテーブルマナーは細かいルールがたくさんありました。料理の盛り付けも、一つ一つ丁寧に盛り付けてあってきれいでした。特にデザートは食べるのがもったいないぐらいにきれいな盛り付けでした。席を立つとき、座るときも左側からというルールがあるのをはじめて知りました。終わる時の合図があることも知り驚きました。いつもパンは丸かじりだったので、一口サイズにちぎって食べるのは、変な感じでした。ジュースを飲むのにもルールがあって驚きました。ナプキンの折り方にいろいろな違いがあるのがおもしろいと思いました。

私は今回初めてテーブルマナーを学ぶ講習会に参加して、新しい知識が増えて、とてもためになったと思いました。普段はあまりナイフやフォークを使わないので、落としてばかりでしたが、だんだん慣れてきて、最後にはちゃんと食べられるようになりました。お料理も色彩が豊かで、すごくよかったです。カナダに行った時、上手にナイフとフォークが使えるか心配でしたが、今回テーブルマナーを体験して安心しました。カナダに行った時も、この知識を生かしたらいいなと思います。テーブルマナーの講習会は、また機会があれば行きたいなと思いました。

資料3 シンガポール南洋女子校来校—音楽を通しての交流



演奏会集合写真

平成20年6月9日



合同演奏 3曲

- ・ *Hands Across the Sea*
- ・ *Post card from Singapore*
- ・ 旅立ちの日に

学年通信紹介文

南洋女子校スクールバンドの生徒60名が目白学園を訪れ、目白学園の吹奏楽部と競演をしました。スクールバンドは日本の音楽やディズニーの曲を4曲演奏し、目白学園の吹奏学部は日本の民謡を3曲演奏しました。最後に両校合同で3曲を演奏し、中学3年の生徒によるスピーチと日本のおみやげを一人ひとりに手渡し、言葉をかわしました。

生徒感想

南洋女子校の音楽を聴いて、音楽には言葉の違いという壁はないと思いました。その曲にこめた音が私の心にも伝わってきました。人数もとても多く、一つ一つの曲にも厚みがあり、目白の吹奏楽ともまた違うなと思いました。最後の挨拶の時に日本語を話してくれたのは、すごいなと思いました。私たちも英語で話せるようにがんばっていきたいです。プレゼントを渡したときに“*I enjoyed your performance*” といったら、笑顔で“*Thank you*” 言ってくれたので、嬉しかったです。またこのような機会があればいいと思います。

南洋女子校と交流ができて、とても勉強になりました。私は吹奏楽部なので、生徒の皆さんと話す機会がたくさんありました。南洋女子校から積極的に話しかけてくれて、微妙でしたが理解できました。でもどうしても理解できなかった英語や発音があったので、カナダに行くまでには、きちんと英語を勉強していきたいです。同じバスクラリネットで同じ年のチャングさんと友達になれたので、これからいろいろな国の人々と友達になりたいと思います。

シンガポールの生徒たちの演奏を聴いて、すごく迫力があり楽しめました。約60人がひとつになって演奏している様子がすごいと思いました。目白の吹奏楽部の人たちもシンガポールの人たちと比べて、少人数なのにきれいだなと思いました。最後に、シンガポールの生徒たちと目白の吹奏楽部が合同で演奏し、音楽を通じた国際交流ができたと思いました。すごくよい経験になったと思いました。

資料4 カナダのレストランでの注文方法 (1)

FOOD

Restaurants in Vancouver



Waiter (Restaurant)



Food Court Menu



Waitress (Restaurant)



Cashier (Food Court)



AT THE RESTAURANT or FOOD COURT

Read the menu and choose what you want to eat and drink.

Cashier: Are you ready to order?

You: Yes please.


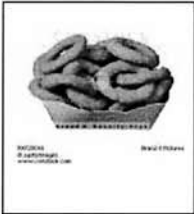













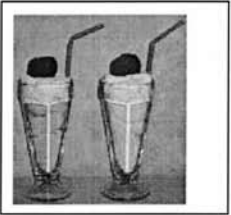
I will have a        (appetizer)       ,  
a        (main meal)       , a        (dessert)         
and a        (drink)       .

Cashier: Will that be all?

You: Yes, thank you.

Cashier: That will be        \$\$\$       .

カナダのレストランでの注文方法 (2)

Appetizers			
			
Fries	Onion Rings	Salad	Soup
Main Meals			
			
Hamburger	Pizza	Pasta	Vegetable Tempura
Desserts			
			
Ice Cream	Cake	Brownies	Pie
Drinks			
			
Pop	Juice	Tea	Milkshakes

資料5 ホストファミリー希望調査

**Junior Three Canada Questionnaire**

Family Name: \_\_\_\_\_ First Name: \_\_\_\_\_

Date of Birth: (Day/Month/Year) \_\_\_\_\_ Age: \_\_\_\_\_

1. Have you ever traveled outside of Japan?       Yes       No  
If you answered "Yes," where did you go? \_\_\_\_\_

2. Have you ever had a homestay experience?       Yes       No  
If you answered "Yes," when was that? \_\_\_\_\_  
Where? \_\_\_\_\_ How long? \_\_\_\_\_

3. What sports do you play? \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

4. What are your hobbies? \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

5. Do you want a smoking or a non-smoking host family?  
 Smoking is OK.                       Non-smoking please.

6. Do you like small children?  
 I don't mind small children.       No small children please.

7. Do you want a family with pets (cats, dogs, birds, etc.)?  
 I don't mind pets.                       No pets please.

8. Are you a vegetarian?       Yes       No

9. Are there some foods that you don't like or won't eat?       Yes       No  
If you answered "Yes," what are they? \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

10. Who do you want to share your homestay with?      Make a list of three names.  
(Anyone from your homeroom is OK)

1. \_\_\_\_\_

2. \_\_\_\_\_

3. \_\_\_\_\_

資料6 中学3年 「ACE」 スピーキング テスト

**Junior 3 Speaking Test**

May 31, 2008

This Speaking Test will be a role-play where the students are meeting their new home stay parents. The hope is that there will be a fluid conversation without too much hesitation and halts in the dialogue.

There are 3 parts to the conversation.

1. Greeting
2. Getting to know each other
3. Closing the conversation

**Greeting (3 marks)**

Teacher: Hi, my name is \_\_\_\_\_. It is nice to meet you.

Students: Introduce themselves  
Nice to meet you too.  
A timely comment

**Conversation (15 marks)**

Ask 5 questions from the list of 15

How old are you?	When is your birthday?
What do you like to eat at home?	Do you like school?
What are some famous places to visit in Japan?	Do you have any pets?
What do you like to do in your free time?	What clubs are you in?
What's your favourite food?	What colours do you like?
What's your favourite subject?	Who is your favourite music singer/group?
What grade are you in?	How many classes do you have?
What subjects do you study?	

**1 mark**

*Answer*

**2 marks**

*Answer it fully*

**3 marks**

*Answer with detail*

**End of Conversation (2 marks)**

Teacher: Well, it is nice to have you here.

Student: Appropriate response

*Thank you. I am looking forward to my visit.*

*Thank you for letting me stay with you.*

**【参考文献】**

- ・浅間正道編著 『異文化理解の座標軸—概念的理解を超えて』 日本図書センター、2001年
- ・金澤孝、渡辺弘編著 『ユニセフによる地球学習の手引き—新しい視点にたった国際理解教育』  
教育出版、1998年
- ・サイモン・フィッシャー、デイヴィッド・ヒックス共著 国際理解教育・資料情報センター編訳  
『WORLD STUDIES』 株式会社めこん、1991年
- ・東京都高等学校国際教育研究協議会編 『国際理解教育』 清水書院、1999年
- ・中西晃編著 『国際教育論—共生時代における教育』 創友社、1993年
- ・本間信行、ベイツ・ホッフア、秋山高二、竹下裕子編著 『異文化理解とコミュニケーション1  
ことばと文化』 三修社、1994年